

【ねがいましては】

第26号

共和珠算塾 新浜
平成2年6月28日

母ちゃんありがとう

2年生を担任するある先生が、母の日の前日に子どもたちと約束をしたそうです。あしたは母の日だから、お母さんに「お母さん、ありがとう」と、心をこめて言おうね・・・

そして月曜日の朝、先まあ生は聞いてみました。まあ、忘れても一人か二人だと思っていたそうです。が、約半分の子が言えただけで、そして残りの半分の子は、立たせておいたそうです。そして翌日、先生の机の上に言えなかつた方の女の子からの手紙が置いてありました。

「先生、こんにちは。お元気ですか。私も元気です。ご安心ください。母の日です。朝、目がさめました。先生との約束を思い出して、私は顔を洗って、朝のあいさつをするときに言おうと思いました。そして、お母ちゃんのところに行きました。言おうとしたら、横にお父ちゃんが座っていました。お母ちゃんだけに言って、お父ちゃんに言わなかつたら、お父ちゃんが気を悪くすると思って、私は言いませんでした。朝ごはんの時は、兄ちゃんも姉ちゃんもいつもですから、恥ずかしくて言えません。

お母ちゃんひとりになつたら言おうと思いました。それで、私はお母ちゃんの後ろをついていきました。そしたら、お母ちゃんは『なんで後ろばかりついてくるの、気持ち悪いな。あっち行って遊びなさい』と言いました。

昼ごはんの時も、みんないつしょですから、とても言えません。昼からは、お母ちゃんはおつかいにいってしまいました。晩ごはんの時もダメです。

それで私は、寝るときに言おうと思いました。ねまきを着て、お母ちゃんのところに行きました。言おうとしたら、やっぱりお父ちゃんがそばにいました。

先生、ゆるしてください。私は、先生との約束を守れませんでした。とうとう、お母ちゃんに言えなかつたのです。しかたがないので、私はふとんを頭からかぶって、兄ちゃん姉ちゃんに聞こえないように小さな声で、一人で『母ちゃん、ありがとう』と言いました。そうしたら、その晩、私は母ちゃんの夢を見たのです」

そのひとことを言うためにまるまる一日がんばつたこの子は、さいごに心から本当のあいさつができたのです。他人の気持ちをここまで考えてあげることの出来る、すばらしい子だと思います。きっとこの子は、りっぱなお母さんになってくれるでしょう。

そして私たちはこのような子たちの心の声を聞こうと努力しているでしょうか。

必ずお母さん方のお子さんにもあると思います。

上記の手紙は、児童研究科として有名な、吉岡たすくさんの著書から引用させていただきました。(笑っててお母ちゃん・・吉岡たすく・・校成出版社)

7月のおもな予定

6月30日(土)	検定試験受付締め切り
7月14日(土)	4級～10級 珠算検定 共和珠算塾
	6級以上 暗算検定 "
15日(日)	3級以上 珠算検定 中央商業高校
	集合 朝8時10分 教室前
	持物 いつもの道具・ぶんちん・受験票
	交通費(小学生は200円で足ります)
	試験終了時間・午前11時(会場)

*夏休みの予定に関しては別にお知らせします

例年の通り、さまざまな行事を計画しています